

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日

(特定非営利活動法人こどもプロジェクト)

1. 事業の成果

福島県の県外避難者の居場所への補助金が令和4年度に切れ、東京の避難親子の居場所リベルタ（杉並区阿佐谷）はWAM 令和4年度補正予算で杉並の困窮児童支援の居場所として、キッズドアやむすびえ、杉並社協など中間支援団体の協力を得ながら1年継続した。リベルタこども食堂としても、様々な助成を短期的に申請しながら孤立・困窮した親子支援を行いネットワークを広げた。参加者は令和4年度からさらに増え、毎回150食を超える支援となった。杉並区のこども食堂では最大規模であり、杉並を東京の中心としたこども食堂防災の拠点化モデル事業「こどもフードパーク TOKYO」の構想をまとめた。

武蔵野市で開催しているリベルタセカンドでは成蹊生と武蔵野市在住のひとり親家庭のこども食堂パントリーを月1回実施し、また開催地の近くに食糧倉庫を市の補助金で借りることができ、武蔵野市との連携を図ることができた。活動場所の拡大のため武蔵野市とも協議し、空き家を利用するなど助成金の利用で賃借するということも検討している。

事業の実施に関する事

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
子どもの居場所づくり・奉仕体験事業	避難親子、地域交流・こども食堂・食糧支援等	令和5年4月～令和6年3月まで	東京都杉並区、武蔵野市	15名	困窮子育て家庭、福島避難親子、支援者 3,000人	17,000
次世代育成支援対策推進事業	食育、玄米発酵調味料等の普及	令和5年4月～令和6年3月まで	東京都内	3名	子育て当事者、福島避難親子 300人	204

(2) 営利活動に係る事業 なし